7月21日未明から観測史上最大の豪雨

24時間雨量335・5㎜を記録

線状降水帯 記録的短時間大雨情報

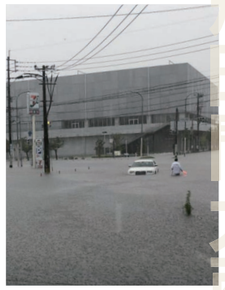
7月21日未明、台風5号に吹き込む風の影響で線状降水帯が発生。激しい雨が久留米を襲いました。24時間雨量335・5㎜。観測史上最大の豪雨は、市民生活に大きな被害をもたらしました。久留米市は、即座に災害対策本部を設置し避難所を開設。翌日には相談窓口を設けるなど、市民の皆さんに寄り添います。

久留米警察署の前の道路の冠水

コスモス街道ののり面が崩落

高良内町の道路に土砂や倒木が流入

山本町では道路が陥没


中央公園北交差点の冠水

1カ月雨量を1日で上回る

7月21日、日曜。参議院議員通常選挙の投・開票日。台風5号に、南から暖かく湿った空気が流れ込んだことで、未明から九州北部地方を中心に、「線状降水帯」が発生。猛烈な雨が降りました。久留米市で同日夕方までの24時間に降った雨量は335・5㎜。平年の7月1カ月分を上回る雨量で、観測史上最大を記録しました。

ほぼ全域に避難勧告・指示

21日4時30分、久留米市に土砂災害警戒情報が発令され、市は災害対策本部を設置。土砂災害の警戒区域のある11校区に避難勧告を発令しました。

降り続く雨で、河川の水位もみるみる増加。洪水による被害を防ぐため、最大で市内42校区に避難所を開設し、12万8815世帯、27万3507人に避難勧告・指示を発令しました。

21時10分、洪水警報が解除されたため、土砂災害警戒11校区以外の避難所を閉鎖。22日18時40分に土砂災害警戒情報も解除され、全避難所を閉鎖しました。

相談窓口やごみを受け入れ

降り始めから23日までの総雨量は、過去最大の474・5㎜。市内では、床上・床下浸水や道路の損壊・陥没が発生。また、商工業者や農家などの被害も発生しています。

市は22日、市民や商工業者、ボランティア、農家の皆さんを対象とした相談窓口を開設。災害ごみの受け入れや浸水した家屋の消毒なども行い、市民の皆さんの復旧に寄り添います。

問防災対策課（☎0942・30・9074、FAX0942・30・9712）

1カ月分を上回る 335.5mm

詳しくはQRコード
市ホームページ 令和元年7月大雨の被災者支援情報へ

大雨で被害を受けた皆さんへ

◆市民相談窓口
9時から17時15分まで、本庁舎3階に開設（☎0930・8832・0785、FAX0942・30・9714）。

◆商工業者相談窓口
平日8時30分から17時15分まで、商工政策課と各総合支所産業振興課に開設。

◆農業被害相談窓口
平日8時30分から17時15分まで、生産流通課と各総合支所産業振興課に開設。

◆ボランティア相談窓口
「手伝って」も「手伝いたい」も、市社会福祉協議会の災害ボランティア相談窓口へ（☎0942・34・3035、FAX0942・34・3090）。平日9時から17時まで。

◆災害ごみの受け入れ
宮ノ陣・上津クリーンセンターで受け入れます。月曜～土曜8時30分から17時まで。

・・・

この他にも、り災証明や災害見舞金、家屋の消毒などもあります。市ホームページで確認してください。

※記事執筆の7月24日時点、各制度は当面継続の予定です。制度によっては、本紙の配布時点で終了していたり、変わったりする可能性があります。

ぼくと わたしと みんなの tupera tupera絵本の世界展

大人も楽しめるデザインや仕掛け

原画ならではの魅力

高いデザイン性によってまとめられた色と形、大人でも思わず笑ってしまう仕掛けなど、たくさんの魅力が詰まったtupera tuperaの絵本。原画を見ると、本では見えにくい細部まで作り込まれていることが分かります。

例えば「パンダ銭湯」に登場するパンダの黒は、どれも同じに見えますが、部分ごとに質感の異なる紙が使われています。

約300点の作品が一堂に

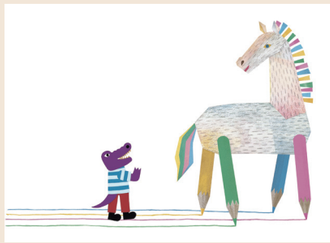
代表作である絵本の原画を中心に、活動初期の布雑貨、イラストレーションやアニメーションなど約300点を展示。tupera tuperaの軌跡をたどる大規模な展覧会を開催します。

■会期 8月6日(火)から9月8日(日)まで ■時間 10時～17時（入館は16時30分まで）。8月18日(日)は18時30分まで延長（入館は18時まで） ■会場 久留米市美術館本館1階 ■休館日 月曜（8月12日(木)は開館） ■入館料 一般800円、シニア600円、大学生500円、高校生以下無料。ただし、15人以上の団体やシニアは割引あり

問久留米市美術館（☎0942・39・1131、FAX0942・39・3134）

ⓒ tupera tupera

市美術館tupera tupera絵本の世界展へ
詳しくはQRコード


ワニーニのぼうけん（2008年 婦人之友社）

パンダ銭湯（2013年 絵本館）

Topic 「本屋が選ぶ」でグランプリ

絵本作家 tupera tupera

亀山達矢と中川敦子による二人組ユニット。絵本やイラストレーションをはじめ工作や舞台美術、ワークショップや空間デザインなど幅広く活躍しています。2002年、二人は布雑貨の制作・販売からスタートしました。蛇腹状に飾ることができる絵本「木がずらり」をきっかけに、絵本の世界にも活動の幅を広げ、斬新なアイディアとユーモアにあふれる作品を次々に発表していきます。

絵本にパンツをはかせるユニークな造本で注目された「しろくまのパンツ」では、第18回日本絵本賞読者賞と第2回街の本屋が選んだ絵本大賞グランプリを受賞。2018年には「わくせいキャベツ動物図鑑」が第23回日本絵本賞大賞に輝きました。